

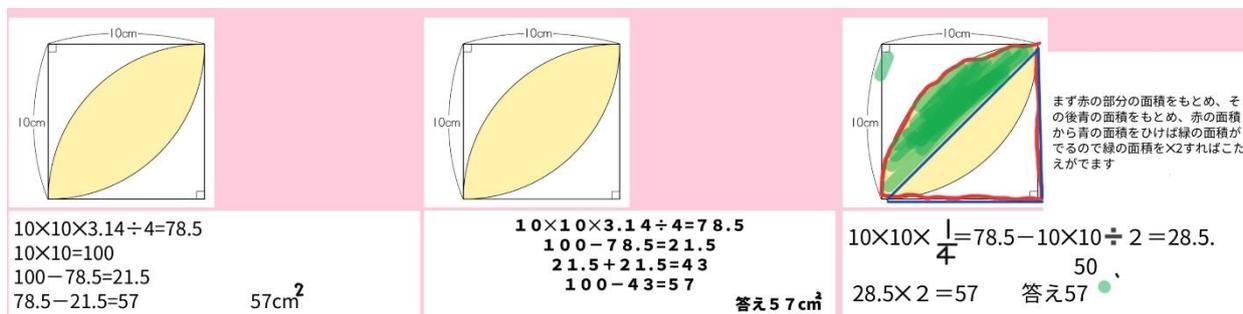
算数科図形の単元での取組

【内容】ロイロノートを活用した図形の面積の求め方を考える活動

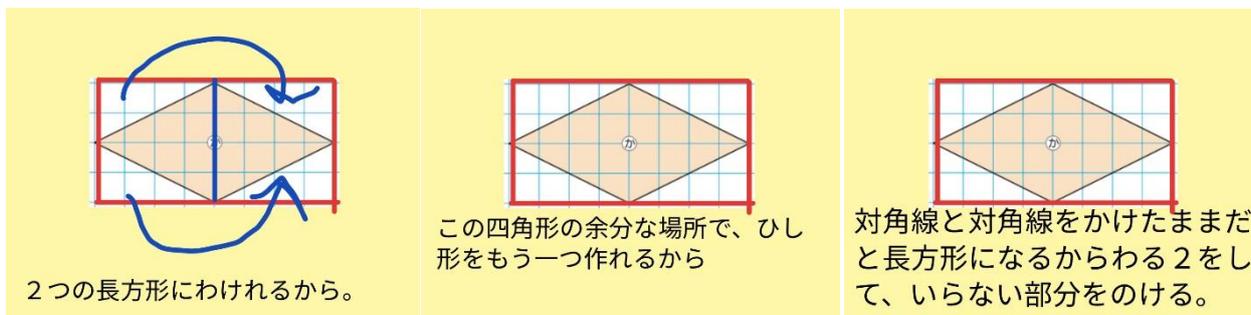
【使用アプリ】ロイロノート

【事例紹介】

6年生の算数科の授業で、図形の面積の求め方を考える活動時ロイロノートを活用した。図形の画像を貼り付けたシートに直接書き込み考えることができる。児童は何度も考えを書き込んでやり直し、自分なりの考えを出すことができたのでより考えが深まりよかった。



また、6年間の復習として4年生、5年生の図形の範囲でも同じように画像を張り付けたシートに書きこむことで考えが深まった。児童は矢印を書き込んだり、色線で図形を分けたりすることで様々な考えを表すことができた。



【終わりに】

この単元においてロイロノートを活用することで、児童は意欲的に面積を求める活動に取り組むことができた。また、様々な考え方が出され児童の柔軟な思考を引き出すことができた。この活動は他の学年でも図形の単元で活用することができるので、学校全体で共有し学力向上へつなげていく。

☆教育委員会主幹講評☆ 算数の図形の学習において、ICTの活用は非常に有効な手段だと言われています。図形を直接比較したり、図形の色を変えたりすることで、児童が学習内容を理解することへの一助となります。ICTを活用することで、今回の事例のようにシートに自分の考えを書き込んだり、消したりを繰り返しながら、より周りに説明しやすいシートを作り上げることができます。そして何より、各自の考えをペアや全体で共有し、説明する機会を取り入れることで対話的な学びを生み、児童同士の言語活動も活発にすることができます。このことは、発表者以外の周囲の児童の理解にもつながります。こういった学び合いの学習を継続することで、教員からの指示がなくても子どもたちは主体的に活動し、最終的には応用力と柔軟性のある思考ができるようになることが期待できます。今後も更に有効な活用の方法を研究し、紹介してください。